

# 既指定地域における評価書 <北九州黒崎駅南地域(H14.10指定)>

## ● 評価書

都市再生緊急整備地域名		北九州黒崎駅南地域		
	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	<p>【北九州市都市計画マスタープラン(平成15年策定)】</p> <p>・都市圏西部の広域の核として、都市機能の充実、強化と質の高い都市環境の形成を図っていきます。</p> <p>【北九州市立地適正化計画(平成29年度運用開始)】</p> <p>・黒崎副都心は、都市機能誘導区域・居住誘導区域として位置付けられており、医療・商業等の都市機能を拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの市民への効率的な提供を図るとともに、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住の誘導を行います。</p>	<p>曲里町地区では、民間による商業施設整備が平成26年9月に完了し、幸神一丁目地区では、民間による住宅地整備が平成23年2月に完了している。</p> <p>また、道路整備や文化・交流拠点地区(図書館・ホール、広場等)の整備等の公共施設整備が平成24年度に完了している。</p> <p>都市再生制度の特例等を活用する都市開発事業や公共施設整備事業は予定されていない。</p>	<p>・人口(地域内) 2,411人(H17)→3,726人(H27) :約55%増(市全体:約2%減)</p> <p>・世帯数(地域内) 1,206世帯(H17)→1,756世帯(H27) :約46%増(市全体:15%増)</p> <p>・地価(地域内) 84.2万円/㎡(H14)→21.2万円/㎡(H28) :約75%下降(市全体:57%下降)</p> <p>・空き店舗率(周辺地域含む) 19.3%(H22)→16.8%(H27) :2.5%改善</p>	
項目別評価	<p>「北九州市都市計画マスタープラン」では、都市圏西部の広域の核と位置付けられている。</p> <p>また、平成29年度より運用開始される「北九州市立地適正化計画」では、黒崎副都心は、都市機能誘導区域・居住誘導区域と位置付けられている。</p>	<p>都市開発事業や公共施設整備事業が完了している。都市再生制度の特例等を活用する事業は予定されていない。</p>	<p>人口、世帯数、空き店舗率等で効果の発現が認められる。</p>	
総合評価	<p>都市開発事業・公共施設整備事業が完了し、整備の目標は概ね達成された。</p> <p>なお、都市再生制度の特例等を活用する事業は予定されていない。</p>		<p>⇒ 地域指定を解除</p>	